



市議会ホームページ
二次元コード

令和4年第1回定例会

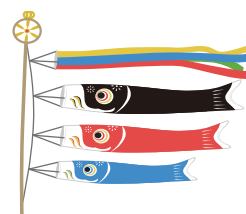
令和4年度一般会計予算議案含む 全41議案を可決



第43回こくぶんじ写真コンクール 国分寺市議会議長賞 受賞作品
「2022年出初式」 撮影者 おおたけ しげる 大竹 茂 氏

●令和4年第1回定例会を2月18日（金）から3月22日（火）の会期33日間で開催しました。

- ⇒ 各委員会における質疑等【要旨】 2～3面
- ⇒ 市長の施政方針に対する各会派等による代表質問での質問・答弁【要旨】 4～5面
- ⇒ 一般会計予算議案に対する各会派等の賛成・反対討論 6～7面
- ⇒ 市長提出議案41件を議決 10面



2月20日に「日曜議会」を開催しました。身近な、開かれた議会を目指します。（詳細は8面へ👉）

ウクライナ支援 義援金を送りました（詳細は8面へ👉）

国分寺市議会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を徹底しております。（詳細は8面へ👉）



提案議案等 を問う

令和4年 第1回定例会 各委員会における質疑等【要旨】

各議案等の要旨や結果は、10面をご覧ください。

予算特別委員会



録画配信は
こちらから

【予算特別委員会の設置】

令和4年度の一般会計及び4会計の予算議案の審査は、予算特別委員会(木村徳委員長、尾澤しゅう副委員長。議長以外の21人で構成)を設置し、3月4日から11日までの6日間審査を行った。

【議案の審査】

■議案第1号 令和4年度国分寺市一般会計予算

○財政フレーム等の質疑

Q (仮称)リサイクルセンターの建設工事完了に合わせて令和9年度まで財政フレームが示されたことは評価する。今後の財政フレームに関する期間の在り方についての見解は。

A 地方財政法に基づく資料であるため、来年度以降も適切な期間で示していく。

○歳入の主な質疑

Q 姿見の池緑地整備事業債について、緑地整備の状況は。

A 隣接する若松公園の用地を取得し、若松公園の親水化も含めた整備を令和4年度中に完成する予定である。

○人件費の主な質疑

Q 会計年度任用職員の報酬を上げる処遇改善について、毎年、年度の途中で最低賃金の変更に合わせて条例改正等を行っていたが、今回1号俸上げたことにより、令和4年度はその必要がなくなるとの認識でよいか。

A 年度には関係なく状況を見ながら都度判断していく。

○歳出の主な質疑

Q インクルーシブ公園の整備について、現在の進捗状況は。

A 関係各課と協力・連携をし、市民団体等へのヒアリング等を実施し、令和5年度の開園を目指す。

Q 新庁舎の建設については、国分寺崖線の歴史的な文化遺産など建設予定地周辺の特徴を生かした色彩やデザイン等を考慮してほしい。

A 建設の際には、コスト面や今後の維持管理の面も考慮しつつ、小・中学生を集めてワークショップを開催するなどし、周囲のまちを歩いて、地域ならではの色彩等を見つけるなどしながら意見を取り入れつつ、地域になじむものを作り上げていこうと考えている。

Q 武蔵国分寺跡の国史跡指定100周年記念オープニングイベント事業について、現段階での予定は。

A 佐渡市から芸能集団「鼓童」を招いての演奏などを考えている。

Q ファーストバースデーサポート事業について、令和4年度より開始するが、どのように進めていくのか。

A 1歳を迎える子どもを育てる保護者を対象に子育てに関する情報提供やアンケートを送付し、その回答を通じて、悩み等を確認し、支援を実施していく。回答を促すため、返送してくれた人に対しては、商品券や子育てに関する市の情報等を送付する予定である。

Q 自殺対策について、令和4年度の計画は。

A 令和4年度の自殺対策についてはリーフレットの作成を予定している。令和3年度に相談機関の連絡先一覧を作成したが、令和4年度はさらに一歩進め、読むことにより心配がなくなるような内容のものを作成したいと考えている。

Q 令和4年度より導入する電子図書について評価する。紙とデータでは利点や有用性が少し変わってくると思うが、その特性に対する考えは。

A 電子図書は紙の図書と比べるとまだまだ発行タイトルが少ない。他市の状況等を鑑みて本市に合う内容の選定をしていく。

Q 予算編成におけるスクラップ・アンド・ビルドのスクラップについて、今回の予算を見る限り、スクラップされたものがないように見える。スクラップの在り方は。

A これをスクラップしたというのは難しい。スクラップを具現化していく取組を今後検討していく。

■議案第2号 令和4年度国分寺市国民健康保険特別会計予算

Q 新型コロナウイルス感染症に係る国民健康保険税の減免について、令和4年度の状況は。

A 国から通知が来ていない。通知があり次第、速やかに検討する。

■議案第3号 令和4年度国分寺市介護保険特別会計予算

Q 介護支援ボランティア事業については、令和3年度より社会福祉協議会へ委託しているが、受入れを実施している施設数と令和4年度の取組は。

A コロナ禍の状況で厳しいが、令和3年度は現時点で3施設での受入れを実施していると聞いている。今後実施報告に基づき経費等について整理していく。

■議案第5号 令和4年度国分寺市下水道事業会計予算

Q 雨水浸透ますの設置について、圧倒的に民間設置が多いが、今後も市施工による設置はしていくのか。

A 本市の湧水は名水百選に指定されている。今後も湧水の保全のため、設置については工夫しながら絶え間なく啓発していく。

■議案第4号 令和4年度国分寺市後期高齢者医療特別会計予算を審査

補正予算審査特別委員会

【議案の審査】

■議案第6号 専決処分について

Q 専決処分の内容とその理由は。

A 国の経済対策の一環として、住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり10万円の臨時特別給付金を早急に支給するためのもの。

■議案第7号 令和3年度国分寺市一般会計補正予算(第16号)

Q 保育士等の処遇改善について、内容の説明を求める。

A 市内認可保育所の保育士等を対象として、継続した賃上げを前提に、収入を3%程度引き

上げるための補助を事業所に行う。同様に市内の家庭的保育室、民設民営学童保育所、指定管理者制度による学童保育所も対象とするもの。

■議案第8号 令和3年度国分寺市一般会計補正予算(第17号)

Q 転出・転入手続のワンストップ化に係るシステム改修の目的や仕組み等を問う。

A マイナンバーカードの所有者が、マイナポータルからオンラインで転出届と転入の予約を行うことで、市民サービスの向上と事務の効率化につながる。

■議案第40号 令和3年度国分寺市一般会計

補正予算(第18号) ■議案第41号 令和4年度国分寺市一般会計補正予算(第1号)を審査



国分寺市立こくぶんじ保育園

総務委員会

【議案の審査】

■議案第13号 国分寺市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について

Q 派遣先から管理職が帰任した場合の管理職ポストと人事管理の考え方は。

A 帰任した管理職のポストを新しく作ることをしないよう人事管理をして派遣を行っていく。

■議案第14号 国分寺市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

Q 正規職員の育児休業の取得率は。

A 女性は10割、男性は4割程度取得している。

■議案第15号 国分寺市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について

Q 条例改正後、退職手当の算定基礎となる勤続期間が通算されるのはどういう場合か。

A 市職員が退職派遣で国の機関等に採用され、その後に市職員に採用される場合に限り勤続期間が通算されることになる。

Q 現在働いている市職員への影響はあるのか。また、職員労働組合と協議はしているか。

A 影響はないため、協議は行っていない。



総務委員会質疑風景

厚生文教委員会

【議案の審査】

■議案第9号 令和3年度国分寺市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

Q 歳入予算のうち国民健康保険税が増額補正となった理由は。

A 当初、新型コロナウイルス感染症の影響から前年度比約1億3,000万円の減収を見込んだが、所得状況等を加味したところ、令和2年度と同水準の収納額になることが確認できたため。

■議案第17号 国分寺市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

Q 子どもに係る国民健康保険税の均等割額の軽減措置の導入が未就学児までなのはなぜか。

A 未就学児の医療費の窓口負担割合が2割の低所得の方も一定割合の負担をしていることを考慮しているため。

■議案第18号 国分寺市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について

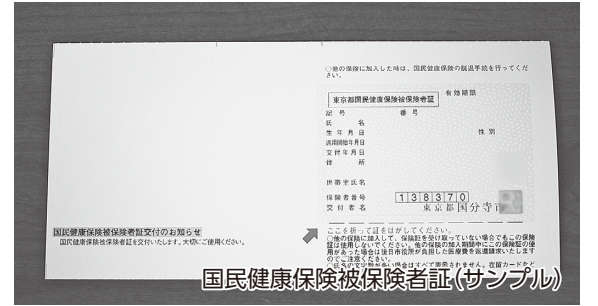
Q 助成制度拡大にあたってのスケジュールは。

A 令和4年4月以降にシステム改修をし、今後対象となる方へ6月以降に案内と申請用紙を送り、10月から制度開始予定。

■議案第10号ほか3件の議案を審査

【報告事項】

・後期高齢者医療費窓口負担割合の見直しについて など



国民健康保険被保険者証(サンプル)

建設環境委員会

【議案の審査】

■議案第12号 令和3年度国分寺市下水道事業会計補正予算（第1号）

Q 水質検査の業務負担金の減額理由は。

A 新型コロナウイルス感染症の影響により、下水道の水質検査を中止したため。

■議案第20号 国分寺市立公園条例の一部を改正する条例について

Q 都市公園になることで公園の利用方法に変更は生じるのか。

A 変更は生じない。

■議案第38号 市道路線の廃止について

Q 市道219号線は第四中学校生徒が通学に使っているが、工事の際の別の動線の確保は。

A 通学を妨げることなく工事を進める予定。

■議案第19号ほか2件の議案を審査

【調査】

・都市計画マスタープランに掲げる土地利用計画の見直しについて

Q まちづくりの手法はどのように考えるか。

A 一定程度整理した後、周辺地域の方と情報共有し合意形成を図りながら、決定していく。

【報告事項】

・国分寺市バリアフリー基本構想（案）のパブリック・コメントの意見について
・ゼロカーボンシティとしての取組展開について など



内藤さつき公園視察風景

公共施設等総合管理特別委員会

【報告事項】

・現庁舎用地の利活用について

Q 現庁舎用地利活用に関する市民懇談会以外でも、集約される公共施設の利用者の声を聞く機会を設ける必要があるのではないか。

A 多くの市民の声を聞く目的で市民懇談会を開催し、利用者団体等には電話連絡等で市民懇談会への参加を促している。これまでのアンケートや市民参加で現庁舎用地利活用のコンセプト等をまとめるのに十分な情報を得られている

と考えているが、不足があればアンケート等の実施を検討する。

Q 複合公共施設の屋上部分についてはどのように活用することを考えているのか。

A 要望のあった施設に弓道場があり、弓道場を設置する場合は屋上を活用することが合理的と考えている。

Q 複合公共施設の各諸室における感染症対策の考え方は。

A 感染症の動向を見ながら基本設計、実施設計等の段階で配慮していくものと考えている。

・公共施設マネジメントの取組について

Q 個別施設計画の修正はどう考えているのか。

A 次の総合管理計画の改定に合わせて見直しを考えている。



市役所駐車場の桜

新庁舎建設等特別委員会

【報告事項】

・新庁舎建設について

Q 新たに発生する文書を収納するスペースはどのくらい確保されているのか。

A 現段階では数十年分の文書を書庫内で保存できるスペースを確保している。

Q 駐車場の車室幅が2.3mだと狭いのでは。

A 台数の確保と安全性・利便性のバランスをみながら、今後も検討していく。

Q トイレは土日の市民利用のことも考慮して

配置しているか。

A 閉庁時のことも考慮し、近接するトイレが互いに機能を補完できるよう配置する。

Q 資材の発注は、新型コロナウイルス感染症の影響を加味しても、現在の工程表どおり進められるという見通しなのか。

A 予定どおり進められる認識でいる。

Q 現時点において、スライド条項の適用要件は満たしているのか。

A 満たしていると考ええる。

・その他

Q 防災用倉庫等の構造を見直し、工事費の抑

制案を提示とあるが、防災水準に影響はないか。

A 防災水準を満たし、かつ工事費の低減を実現できるよう決定していく。



新庁舎用地の桜

施政方針を 問う

令和4年 第1回定例会 代表質問での質問・答弁【要旨】

各党派等から代表質問を行った議員が、一定のスペースで自由にまとめたものを掲載しています。実際の質問は、自由民主党市議団、立憲・市民フォーラム、公明党、日本共産党国分寺市議団、無党派（国分寺・生活者ネットワーク）、無党派の順番で行われましたが、紙面の都合上このように掲載しています。



録画配信は
こちらから
(5月31日まで)

新型コロナウイルス対策を最優先に

1. コロナ対策について

小坂 オミクロン株により感染者数も急速に増えている。ワクチン接種やPCR検査における対応、事業者支援対策について伺う。

市長 コロナ対策については、最優先課題として今年度も取り組んでいく。2月17日時点で高齢者における3回目の接種は約52%が完了、64歳以下の方においても約5%が完了しており、順調に推移している。2年前はコロナの検査体制が脆弱だったが、4市共同のPCR検査所を設け、また、検査に向かうまでの移送事業も実施した。現在、市内で検査を受けられる場所も増えてきた。都の動向を注視しながら、医師会とも確認しながら、必要な連携や市民への情報提供を行なっていきたい。事業者支援については、スピード感を持って対策を行なっていきたい。こういった対策を打つにあたって、財政的な裏づけは非常に重要である。コロナの影響を加味した税収の推移を踏まえ、今回、財政調整基金を取り崩さなくて済む予算編成ができた。

2. デジタル化の推進について

小坂 今後の活用方法について伺う。

市長 試行段階だが、公共施設の予約システムやキャッシュレス決済など、市民の方々の利便性を考え、遅れることなく推進していきたい。

3. すべての人を大切にするまち宣言について

小坂 市では「すべての人を大切にするまち宣言」を制定。各年代に係る事業について伺う。

市長 宣言をした大きな理由としてコロナ感染下ということがあった。相手に対する思いやり、相手の身になって考えることが非常に重要であり、この考え方は全ての施策の中に根づいていかなければいけないと考える。高齢者施策として、肺炎球菌の予防接種における5年ごとの補助、介護老人保健施設すこやかににおける通所介護の受入れ人数の増員、高齢者向けオンライン講習会などの予算を計上した。子ども・若者施策としては、インクルーシブ公園の設置、学童保育所の整備、学級数確保のための増設などを推進している。また、心のバリアフリーということで、パートナーシップ制度も創設した。

4. 武蔵国分寺跡周辺整備について

小坂 国の史跡指定を受けてから100周年を迎える今年度、記念事業の開催が予定されている。

自由民主党市議団
小坂 みちよ



しかし、史跡の保存については、周辺住民の皆様のご理解とご協力によって守られており、一部土地への立入り及び画像利用に関して何らかの対応が必要と思われるが、いかがか。

市長 武蔵国分寺は、全国各地にある国分寺の中でも最大級と言われ、基壇整備等、着実に史跡の整備を進めてきた。100周年の今年、改めて市民の方、全国の方々に知っていただき、流行病や飢餓などの収束を願う場所であったことから、パワースポットの観点から訪れていたのだと思う。

教育長 国史跡指定地の74%弱が公有化されており、そのほかは寺社の所有地あるいは民有地となっている。公有化された土地については、市が保存・管理の徹底を図っているが、それ以外の土地は、現所有者の方々のご理解とご協力をお願いしている。民有地の文化財公開については、引き続き所有者様のご理解が得られるよう努めていきたい。

コロナ禍の影響「孤立・孤独」対策に重点を

◆予算編成に際し政策の選択と集中はあるのか

市長 未曾有の危機的状況に人の心は荒むが、平穏に心の安寧を共有したい思いが強くなる。全体的にやるべきことを網羅しゼロベース予算の徹底、選択、集中、工夫した予算編成だ。

◆人事管理、職員の育成は?市の業務は会計年度任用職員抜きでは業務が回らないのが現状。メンタル面、ハラスメント問題など目配り気配りは重要。昨今、事務的ミス散見されるが。**市長** 事務的ミスは避けられない。人材育成、処遇改善取り組んでいる。ハラスメント発生は残念。委員会もあり安全管理しっかりやっていく。

◆財政規模、基金、公債費について就任当時の一般会計予算約380億円、令和4年度は約503億円と1.3倍だがその見解と基金（貯金）起債（借金）の現状は？**市長** コロナ対策等で国都の施策で極端に膨らむ要素あり。就任以降、地方債残高の減少、基金も倍増した。

◆コロナ感染し自宅療養中の市民への支援は

市長 2月17日現在自宅療養者895人。保健所につながりにくいための市の保健師による電話相談窓口の設置。パルスオキシメーター200個、

体温計28個貸し出し中。国分寺市医師会と連携しフォロー体制取っている。**◆コロナ禍の影響**により、医療介護のサービス抑制、受診控え、子どもへの影響など心配だ。市としての対応や考え方は。**教育長** マスク生活で表情が見えにくくコミュニケーションがとりにくい。子どもたち自身の戸惑いもあるがオンライン交流等創意工夫している。我慢だけではなく創意工夫する力も身につけ共に困難を乗り越えていきたい。

◆深刻な孤立・孤独問題周囲を巻き込む拡大自殺問題も心配。様々な活動が途絶えている今、意識的に市民活動ができるような対策や支援について力を入れるべき。**市長** 高齢者の孤立は深刻で厳しい状況、人間関係が希薄、ストレスフルな状態。可能な限り安全な方法で活動してほしい。施設もできるだけ開放し感染した際のリスクや責任問題も考え合わせて検討している。

◆ヤングケアラーの周知啓発と共に実態調査を

市長 SSW増員で発見し市内連携支援していく。

◆ゼロカーボンシティは取り組みの見通しあるのか？**市長** 見通しが立ったというより、宣言により実際の方策を立て実現するよう進める。

立憲・市民フォーラム
皆川 りうこ



◆スマート自治体への転換では、公共施設の予約を本予約までオンライン化できるように。申込用紙もダウンロード可能に改善し効率化せよ。

市長 意見を聞き最良な方法を考えていきたい。

◆パートナーシップ制度を進めていくためにも固定的役割分業の解消、男女平等の認識が必要。

市長 男女平等の実現と制度を併せて進める。

◆ファーストバースデー事業は虐待防止としても**重要市長** 子育ての孤立化を防ぐため一歳前後に直接連絡ができる等顔の見える関係を作る。

◆三小、十小の学童施設の新たな整備に際して両校とも保護者へは丁寧な説明を。**教育長** 良好な環境を整備する方向で検討し説明していく。

◆暫定恋ヶ窪公民館建設その後の検討は？市政方針に公民館の記載がなかったが。**教育長** 市民の学びの場として一層の充実していきたい。先が見通せる状況になったら検討していく。

◆野川整備これまで以上の取り組みを。**市長** 都にも強く訴えている。市民と共に進めていく。

「選ばれるまち・国分寺」の実現を！

木村 私的一般質問がきっかけとなり昨年12月に多摩地区自治体で初の「すべての人を大切にするまち宣言」が制定されたが、制定後の反響と今後の市政に活かしていくための展望は。

市長 テレビ・新聞等の報道で大きな反響をいただき、市民からも大変評価を頂いている。今後は子どもから高齢者まで、また障害者や外国の方など、今回の施政方針に掲げたほとんどの

施策に広くこの宣言を反映していく。

木村 持続可能な行財政運営を実現するには「住み続けたいまち」だけでなく「選ばれるまち」の視点が重要だ。そのための将来像は。

市長 今回の予算は民生費が約半分だ。持続可能な財政運営を踏まえ高齢者や子ども施策など全体に目配りしながら街の魅力も発信していく。**木村** その魅力発信の一つに武蔵国分寺跡史跡

無党派
木村 徳



指定100周年がある。単年度事業だけでなく、継続的に発信できる日本遺跡認定の再挑戦を。**教育長** 基本構想策定等のための検討を進める。**市長** 令和四年度をスタートとして伝統文化を充実させ、守っていく。

市民に寄り添い生活を守る市政を

問) 新型コロナウイルス感染症対策では市民の安全安心のため引き続き緊張感を持って対応を。
市長) 各関係対策に先手を打って対応する。
問) ヤングケアラー支援、スクールソーシャルワーカー増員など共生社会実現に向け取組を。
市長) 横断的に対応するため支援体制を整える。
教育長) 児童生徒への支援の充実を進めたい。
問) 新庁舎建設に着工する年。決意を伺うとともに、昨今の鋼材価格の動向等の影響は。
市長) 震災対策の観点からも遅れることなく進める。影響がないよう事業者と連携し取組む。
問) 「ゼロカーボンシティ」宣言を評価する。市民・事業者の協力も必要。着実に推進を。
市長) 強い決意を持って施策を進めていく。
問) デジタル化推進にあたっては、高齢者への対策などの具体的な取組を。
市長) スマートフォン講習会等取組みを進める。
問) 持続可能な国分寺市の経営に向け柔軟かつ積極的な市政運営と財政健全化の両立を。
市長) 将来にわたって安心の財政運営を行う。
問) パートナーシップ制度のさらなる推進を。
市長) 「にじいろ相談」の実施や、近隣市と連

携して若年層の居場所づくり等にも取組む。
問) 認知症対策、フレイル予防の推進を。
市長) チームオレンジの構築を進めるとともに地域包括ケア担当課長を設置し取組を強化する。
問) 高齢者肺炎球菌ワクチン接種拡充を評価。重症化予防等のため次年度以降も推進を。
市長) 経済的負担軽減からも継続したい。
問) 障がい者施策では武蔵国分寺公園隣接地をインクルーシブな公園への整備に期待したい。
市長) 多摩地域の市立公園で初の取組になる。
問) ファーストパスデーサポート事業の推進で行政とのつながりを深めていただきたい。
市長) 安心して子育てができるよう支援したい。
問) 産後ケアでは家事支援の取組の検討も。
市長) 国制度の状況を把握し情報収集を進める。
問) 子どもの医療費助成では小学4年生から中学3年生まで所得制限を撤廃する拡大を評価。
市長) 10月から開始。経済負担軽減につなげる。
問) 小学校35人学級への着実な推進を。
教育長) 市の責任として計画的整備を進める。
問) 武蔵国分寺跡の史跡指定100周年の佳節にあたり多くの事業を評価。歴史文化の継承を。

公明党
木島 たかし



市長) 歴史と文化のまちの誇りを未来に向けてつないでいきたい。しっかり取組む。
問) 電子図書の導入を評価。計画的な推進を。
教育長) 新たなサービスとして拡充を進めたい。
問) 平和事業推進 あらためて決意を伺う。
市長) コロナ禍にあっても事業を進めていく。
問) 防災減災対策 ①女性防災リーダー登用 ②コミュニティFMの災害時活用③ブロック塀撤去等の助成 をさらに進めてほしい。
市長) 今後も取組んでいきたい。
問) 食品ロス削減等進めさらなるごみ減量を。
市長) フードドライブの拡充等進める。
問) 西国分寺駅南入口(武蔵野線高架下付近)歩道拡幅を評価。工事中の利用者の安全確保を。
市長) 早期着工を目指し、かつ安全に進める。
問) 砂川用水の水路整備 安全な維持管理を。
市長) 今回の整備で溢水の被害を解消できる。この他、職員育成、現庁舎用地の今後の方針、国分寺駅南口、野川整備、農業振興を質問要望。

市の総力を挙げた新型コロナ対策を求める

岡部: 新型コロナ対策に市の財政的、人的資源を挙げて全力で取り組むことが求められる。市長の施政方針でも「最重要課題として全庁一丸で難局を乗り越える」としているが、施策ではワクチン接種と医師会への支援がある程度だ。PCR検査の拡大、介護施設の職員・利用者に陽性者が出た時の施設への運営補助などが必要だ。困窮・低所得者への支援では、国の施策はあるが対象外の方を含む市の独自支援策が必要だ。事業者支援でも都の月次支援金の対象者に限定している問題がある。
市長: PCR検査、低所得者の支援など市として実施可能な対策を進めてきた。国や都の施策を見たらうで、市として何が必要か模索してゆく。事業者支援も適時考えてゆく。
岡部: 国からの交付金2億7千万円はコロナ対策の幅広い用途が可能であり、PCR検査、低所得者支援、事業者支援などの拡大は可能なものだ。今こそ速やかな活用をすべきだ。
市長: 財政調整基金は一定額をキープしておくことが必要だ。自然災害、緊急時の対応である。
岡部: 新型コロナの拡大も災害に匹敵する事態

だ。これを活用したらどのようなコロナ対策ができるかとの視点で考えるべきだ。
岡部: ヤングケアラーの支援としてスクールカウンセラーの増員は歓迎する。当事者からの聞き取りや市としての調査などふまえて具体的な支援策の検討を進めてほしい。介護保険制度が20年経過しても家族介護で担っているという重大な問題でもある。
市長: 市報等での啓発、状況把握等を行う。市の支援体制検討に着手したい。
岡部: 補聴器購入補助実施を求める。三鷹市が新年度から実施と聞く。軽度の難聴から認知症へのリスクもあると指摘されている。高齢者の社会参加を保証するものだ。
市長: 補聴器は非常に高い、しかし使う難しさもある。三鷹市を参考にしながら研究したい。
岡部: 都立病院が多くの市民の生命を守ってきた。2月16日からの都議会に廃止条例案が提出され都立病院予算も6月までしか計上されていない。7000人の都職員の身分も一方的に奪うもので許されないものだ。
市長: 各市、都の考え方もあり、しっかりと聞

日本共産党国分寺市議団
岡部 宏章



いて判断してゆきたい。
岡部: 中央線西国分寺駅東口、西武線恋ヶ窪駅東口の開設を。
市長: JR、西武鉄道との交渉を継続してゆく。
岡部: 2022年度は国の方針で個人情報保護条例の改正検討が進められる。国の言う通りなら個人情報は守られない。ガバメントクラウドに参加することも同様で、市民のデータが米国の手に渡ることになる。法ではこれへの参加は任意とされており、市は参加しない判断をすべきだ。
市長: 春には国のガイドラインが示されるので、議論と検討を重ねたい。ガバメントクラウドは国産の話もあり、情報収集して見据えたい。他に◎GIGAスクール構想と子どもの学習情報◎気候危機への市の対策◎小中学校の少人数学級化の課題◎学童保育所の増設と高学年児童の受け入れ◎恋ヶ窪公民館のバリアフリー化◎現庁舎用地の利活用と公共施設の再配置、などについて質問しました。

市民の力が発揮できる市政運営を!

◆2年以上に及ぶ感染症の影響は、経済的ダメージや心身の不調などに現れている。一方で、こういう時だからこそ何かできることをしたいとの人の動きも見える。全ての施策において、「すべての人を大切にすまち宣言」を具現化するための全庁的な取り組みを求める。
(市長) 多くの市民が厳しい状況にある。誰もが相互に人格と個性を尊重しあえる、多様な生き方を認め合える全員参加型の社会と共生社会を実現していくために宣言した。その趣旨に沿っていろいろな施策を展開していきたい。
◆5歳~11歳までのワクチン接種に不安の声がある。ワクチンに関する最新情報の提供や相談体制、子どもたちが差別を受けることがないよう配慮を。(市長) 医療的な見解が出されたら

HPやその他のツールで案内する。差別がないよう丁寧な周知を行う。◆市民の自発的な活動から新たな縁が市内に広がり、閉塞感漂うコロナ禍においても、若い世代の発想や行動に希望が見える。今年度整備を進める「重層的支援体制」の地域づくりに市民との意見交換を。
(市長) 重層的支援体制は、多くの問題を抱える家庭へ総合的な支援を行う。重層的支援会議を設け、地域づくりに向けた団体等の力も借りながら進めたい。関係機関や地域福祉推進協議会のご意見も聞きながら準備していく。◆障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に遊べるインクルーシブな公園の整備は、単にインクルーシブ遊具を置くだけでなく、子どもや保護者、地域住民が集うワークショップを繰り返しながら、多様性を認め合うコミュニティの拠点となるよう進めてほしい。(市長) 障害のある方だけでなく多くの方が集い、交流できる癒しの拠点のような場所にしたい。心の触れ合いにも期待する。多くの方に意見をききながら、公園の造成に努めていく。◆地球温暖化防止行動計画(市域版)の策定は、市民、事業者、行政がそれぞれに持つ情報や知恵を出し合い、協力しあえる場を作っていくことが重要。(市長) 市民・事業者の協力が大変大切で、同じ意識と目標を共有する必要がある。実現・実施可能で効率的・効果的な温室効果ガス削減策を検討していく。

無党派(国分寺・生活者ネットワーク)
高瀬 かおる



予算議案を 問う

一般会計予算議案に対する討論【要旨】

3月22日の本会議で令和4年度一般会計予算議案に対する表決に先立ち、各会派等を代表して賛成・反対の討論が行われました。各会派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを掲載しています。実際の討論は、自由民主党市議団、立憲・市民フォーラム、公明党、日本共産党国分寺市議団、無会派（国分寺・生活者ネットワーク）、無会派の順番で行われましたが、紙面の都合上このように掲載しています。



録画配信は
こちらから
(5月31日まで)

賛成

福祉関係費が50%に迫る大型予算を評価

ロシア軍、共産党軍に備えて防衛強化を

ロシア軍のウクライナ侵攻のため世界は危機的な混乱状況にある。平和だった街は一瞬で戦場になり、乳幼児からお年寄りまで多くの命が奪われている。この現実を隣国が起している戦争であって遠い国の話ではない。日本は対岸に共産主義の危険な国と常に対峙している。今こそ国の防衛をしっかりと考える時である。

福祉関係費が総額の50%を占める大型予算

令和4年度一般会計予算は総額503億5700万円にのぼり、特に老人福祉費、心身障害者福祉費、児童福祉費、生活保護費など高齢者から乳児までの生活を支える民生費は250億6600万円に達し予算の約50%を占めている。昨年の世界人権デーにおいて制定した『すべての人を大切にするまち宣言』にふさわしい井澤市長の思いやりが感じられる素晴らしい予算となっており高く評価するものである。

新型コロナワクチン最速の3回目接種

新型コロナワクチン3回目接種に当たっては国分寺市医師会の先生方のご協力をいただき昨年12月からスタートし、さらに接種間隔が2か

月間短縮され6か月になった際にもいち早く対応している。医師会の先生方に感謝申し上げる。

地域包括ケアシステムの充実と肺炎予防

高齢者施策では新たに地域包括ケア担当課長が設置される。高齢者の地域での生活を支える地域包括ケアシステムの充実を図ると共に、地域の特性に応じた認知症施策の推進や、生活支援サービスの向上を期待している。また高齢者の肺炎を防止するため肺炎球菌ワクチン接種費用の助成が拡大され、回数の制限なしに5年ごとに追加接種が可能になった。

同行援護者や障害者移動支援者の養成研修開始

障害者福祉では4か所の短期入所事業所、2か所の相談支援事業所が地域生活支援拠点として位置付けられた。また福祉に関わる専門の人材育成として、視覚障害や知的障害のある方の外出時の支援を行う、同行援護者や障害者移動支援者などのガイドヘルパー育成のための研修の強化が打ち出された。障害のある方の自立生活や社会参加の機会が多くなることを期待する。

学童保育所の拡充と一部狭あい学童の是正を

学童保育所は七小学区内に30人の拡充が図ら

自由民主党市議団
(賛成7人)

森田たかし 尾作 義明
丸山 哲平 尾澤しゅう
小坂みちよ 新海 栄一
吉田りゅうじ



新海 栄一

れる。また低学年児童の申込の後に定員の空きのある民設学童保育所7か所において、小学校4年生の受入れが試行的に行われることは一歩前進した。さらに三小、十小内に公設民営保育所が整備され72人の定員拡充が図られる。これにより全市の充足率はほぼ100%となる。現在問題になっている一部学童保育所の200%を超える狭あい状況は、コロナ禍で極めて危険性が高いので早急に是正していただきたい。

西国南口武蔵野線ガード下の歩道拡幅を評価

西国分寺駅南口の武蔵野線ガード下から府中街道にかけての歩行者道は非常に狭く、以前より安全確保のため拡幅を求められていましたが、このたび土地確保が実現し拡幅が決まったことは喜ばしく市の努力に感謝したい。道路問題では市の南北を結ぶ都道国3・2・8号線と、東西を結ぶ都道国3・4・6号線が防災上も重要な道路となっている。東京都と協議を進め早急の開通を目指していただきたい。

賛成

市民の立場で市民とともに 市政運営を！

令和4年度一般会計予算総額は503億5705万円で、予算編成にあたっての基本的な考え方であるゼロベースからの真に必要な経費の計上に努めたことは大いに評価します。

市税収入9億円の見込みについても納税義務者や個人所得、新築家屋による増と理解しました。安定した税収確保にむけて市でも「賃金のあるべき水準額」を検討していただきたいです。

人口は令和4年1月1日現在で127,792人で人口ビジョンの推計より上回っていますので、適宜ビジョンの見直しが必要だと考えます。

15才から64才までの生産年齢人口は令和5年がピークでその後は減少する見込みなので楽観できない状況が続きます。

経常収支比率については93.4%でしたが今後悪化する推計なので目標である90%台前半を目指していただきたいです。

基金残高は現在の139.7億円から財政フレームでは新庁舎やリサイクルセンターの建設などにより令和9年には61億円まで減少する見込みです。目標である財政調整基金30億、公共施設整備基金20億円は堅持していただきたいと要望します。

個別事業につきましては以下のとおりです。

人件費について会計年度任用職員の報酬増は評価します。さらなる待遇改善に努めてください。商工費では消費者教育について成人年齢の18歳引き下げに伴う若年層対策をお願いします。

土木費では道路新設改良工事や都市計画道路工事の着実な進行を求めます。

西元町に新しくできるインクルーシブ公園については利用者の声を事前に十分聞いて設計していただきたいです。

消防費では防災会議の女性委員を増やしていただきたいです。

総務費ではいずみホールの指定管理料について増加の理由がわかりにくいので今後はわかりやすくするように工夫してください。

すべての人を大切にするまち宣言については具体的な取り組みをおこない絵に描いた餅にならないようにしていただきたいです。

民生費では健康福祉サービス協会と社会福祉協議会に対して市は必要に応じて指導、助言など対応すべきことを求めておきます。

ヤングケアラーについては市内の実態調査をし

立憲・市民フォーラム
(賛成5人)

だて淳一郎 及川 妙子
はせべ豊子 星いつろう
皆川りうこ



及川 妙子

ていただきたいと考えます。保育所が増えているので質の確保が重要です。保育施設の指導監査はぜひ書面のみでなく実際現場に行き検査していただきたいです。

子ども家庭支援センター事業については相談員の環境整備に努めていただきたいです。

教育費については35人学級への対応として普通教室の増加が計画されていますが、設計が固まる前に地域や保護者の意見を聞いてください。

幼稚園についても入園者が減少しているののでしっかりフォローしてください。

いじめ・虐待防止条例で重大事態と認められた事案については早期の結論を求めます。

公民館事業については公民館運営審議会やサポート会議の皆さんとの信頼関係を崩すことがないように地区独立館体制、5館構想が継承されるように強く望みます。

くめぎ教室については今後のあり方を再確認しますが、市民にわかりやすい形でお願いします。

賛成

すべての人を大切にする予算案を評価

後年度見通しを示す財政フレームについて、5年分を示したことは評価し継続して頂きたい。令和12年には人口減少が推定される中、ゼロベース積み上げ予算を継続しつつも一層厳しい査定を期待する。大規模災害等緊急時の財源としての基金は計画通り維持し、更なる積み増しも検討すべきだ。また決算剰余金の当初予算への反映は、実態と乖離しており見直しを求める。

予算委員長として厳格な答弁姿勢を求めた結果、例年よりしっかりした答弁がなされた。このような、実践を踏まえた人材育成研修を一層求める。昨年12月の「すべての人を大切にするまち宣言」に基づいた西元町へのインクルーシブ公園の設置や、危険であった西国分寺駅武蔵野線高架下歩道の改修、ヤングケアラー対策など、速やかな対応は大いに評価する。武蔵国分寺跡

無会派
(賛成1人)

木村 徳



木村 徳

史跡指定100周年事業は単年度の一過性にならないよう求める。年度開始後、安易に議会の議決を要しない専決処分をせず原則、補正予算提案を求める。井澤市長三期目初の予算提案で、大変適切な予算であると評価し、賛成する。

賛成

未来につながるため
変化に対応できる強さを

新型コロナウイルス感染症との闘いも3年となる令和4年度の予算規模は、一般会計503億5705万円、対前年度比3.5%の減額だが、前年度予算計上の新庁舎建設用地買収費を除くと実質的には22億円の増額となる。市税収入は、個人市民税において納税義務者数の増などの要因で増額見込みは喜ばしいが、歳出において施設整備費、扶助費などの増もあり楽観視はできない。地方債の償還が進んでいることは評価したい。ただ今後、新庁舎建設工事や（仮称）リサイクルセンター建設事業など地方債は増加傾向となるため、油断なきようお願いしたい。また、長期化するコロナ禍の厳しい状況の中でも基金取り崩しに依存しない収支均衡型予算編成は評価したい。将来世代に負担を先送りしないよう、将来を見据えた持続可能な財政運営をお願いしたい。

●「ゼロカーボンシティ宣言」を大いに評価する。食品ロス削減やフードドライブ、生ごみたい肥化など市民が協力できる取り組みを明確に示すなど、積極的な取り組みを期待したい。

●デジタル対策について

高齢者のデジタルディバイド解消のため、各公

民館等でのスマホ教室の開催拡大を評価する。デジタル化に取り残される方がないように進めていただきたい。市立図書館での電子図書の導入は利便性の高い事業であり、評価したい。

●すべての人を大切にすまへ

「すべての人を大切にすまへ宣言」から思いやりのある施策への展開を期待する。西国分寺駅南入り口（武蔵野線高架下付近）歩道拡幅は地域の長年の課題。大きく評価したい。工事中の利用者の安全確保をお願いしたい。令和5年度本格実施の重層的支援体制の整備に期待する。孤独、孤立対策、介護、障害など生活上の課題も複雑化している。なかでもヤングケアラー支援対応にスクールソーシャルワーカー増員などの取り組みが始まることを評価する。課題は多いが、共生社会実現に向けてご努力願いたい。

●未来につながる持続可能なまちづくり

平和事業について、今こそ平和の尊さを訴えることが一番必要な時期であり、非核平和宣言都市として次世代への継承にしっかりと取り組んでほしい。防災備蓄品のオムツ、生理用品を必要の方に配布する事業を評価する。国分寺市防

公明党
(賛成3人)
高橋りょう子 木島たかし
さの久美子



さの久美子

災会議に女性委員が少ないとかねてから指摘している。男女共同参画の視点からも改選期にあわせ、女性の参画推進を進めていただきたい。

●安心して産み、育ち、学ぶことができるまちづくり 産後ケア拡充策として、家事・育児負担軽減事業の検討を求める。義務教育就学児医療費助成制度の小学校4年生から中学3年生までの所得制限撤廃は子育て世帯への経済的負担軽減の考え方から大いに評価する。

●高齢者施策について

市独自の取り組みとしての高齢者肺炎球菌ワクチンの費用を初回接種から5年以降の再接種にも回数制限なしに助成する施策を評価する。

今年は新庁舎建設工事に着手する大事な年。市民の安全安心のために緊張感をもって進めてほしい。命を守る観点からコロナ対策が最重要課題だが、市民の日々を守り、安心して生活できる経費も盛り込んでいる予算と考える。以上のことから、令和4年度一般会計予算に賛成する。

反対

2億7千万円の交付金は命を守る施策に

命を守り抜く予算となっているか

「コロナ感染症の急拡大」による、生命、暮らし、事業継続の危機から市民を守り抜くためにふさわしい予算かどうか——これが賛否の判断の第一の基準である。そのため市の組織と財政が全力を尽すようになっているか、執行者の政治姿勢が市民・納税者に向き合っているか、等について検討した。

衛生費＝PCR検査・保健所の増員・医療機関の支援などについて

感染拡大を止めるためにPCR検査の拡充を一貫して要求してきた。交付金を活用し市内の介護や障害者、子育てなどに従事しているエッセンシャルワーカー（4200人）への検査の継続的实施を求めたが、同意する答弁は得られなかった。保健所の機能崩壊への明確な対応策、感染拡大防止策に逆行する都立病院の廃止、独立行政法人化に対して、市民を守る立場から反対を表明すべきであると求めたが、明確な立場の表明は行われなかった。

気候危機への対応については、科学的な温暖化対策の目標を市民と相談、市民と進める重要

性を強調し、武蔵野市の例として「市民活動プラン（仮）」を示し、決意を求めた。

民生費＝（1）国民健康保険税で子どもへの保険税均等割の中止を求めてきたが、ようやく国として就学前のみ半減となった。さらなる支援の拡大が必要である。コロナ禍で減収世帯への保険税特別減免は対象者が急減する制度の問題があり、市の支援策が必要である。

（2）補聴器購入補助制度の実現を。多摩で三鷹市が実現、18歳からを対象とし、注目している。市の予算1千万円の内、都補助450万円ある。当市も早期実現を要望する。

（3）子ども医療費助成の拡充を求めてきたが中学生までの対象拡大は評価する。都が18歳までとし、市部との協議を求めており、対応されたい。

（4）生活保護世帯で大学進学を認められないのは貧困の連鎖となる。若者の夢と希望の選択を応援する市の支援策が必要だ。

教育費＝（1）教職員の婦人科検診は職域実施が中止となったが、70%の受診率で予算も100万円ほどだ。職場の厳しさ、定員不足も言われるもとで復活すべきである。

日本共産党国分寺市議団
(反対3人)
中山 とう 中沢 正利
岡部 宏章



中沢 正利

（2）GIGAスクール構想については、OECDの調査報告で、読解力、数学、科学の三分野でPCの使用時間が長いほど学力が低下。ICT活用は、深い探究的思考に不向きとしている。教える道具として一気に普及したが、学びの道具として教育現場や父母との合意など不十分で強行した。

また、タブレット使用で「個別最適化の教育」というが、学びの孤立化、質の低下の指摘も。さらに、個人の学習情報が民間企業に全て集積され、活用する流れは警戒が必要だ。教職員と保護者の理解なく発展もない。努力を求める。

総務費＝行政のデジタル化について（企業にとって）「地方自治体は個人情報宝の山」と狙われているが、個人情報の主人公は市民自身である。世界の流れは市民を守る規制に向っているが、この国は逆行している。地方自治体のあり方が問われていることを深く自覚して、地方自治の発展に努めよう。以上で反対討論とする。

賛成

すべての施策で人権を大切にすま市政運営を

歳入の根幹となる市税収入全体では前年度比9億円増の238億4,535万円を計上。これは令和2年度と同水準にあたるが、コロナ禍の影響を受ける事業者や生活困窮者の暮らしは依然厳しい。引き続き、生活を安定させる適切な支援策を。全会計では市債の未償還額が増え基金が減る予算編成だが、今後の（仮称）リサイクルセンター等の施設整備や人口推計も踏まえ、長期的な見通しを持った、次世代につけを残さない財政運営を求める。また、パンデミックやウクライナ侵攻の影響から物価が高騰している。社会情勢や経済動向に注視を◆会計年度任用職員について。報酬約1億円の増額は評価。非常勤職員であってもその責務に見合った待遇で雇用されるべき。更なる働きやすい環境づくりを◆多文

化共生推進について。在住外国人が増えている。相談体制の強化とともに、日本語教室や多言語への対応など事業の充実に期待。共に地域で暮らす市民として互いの理解や信頼が深まる取組を◆乳児健診について。集団健診は子どもの健康状態の把握だけではなく、子育ての悩みを相談できる場としての意義も大きい。令和4年度の3、4か月児健診は小児科などでの個別健診のみとなるが、今後については集団健診も選択できるよう再検討を◆子宮頸がん予防接種について。対象者への問診票の送付が始まるが、副反応については最新の情報提供と迅速な救済策を求める。また、学校と連携した相談体制整備を◆動植物調査と生物多様性地域戦略について。地球温暖化防止行動計画（市域版）と並ぶ重要

無党派(国分寺・生活者ネットワーク)
(賛成2人)
小坂まさ代 高瀬かおる



小坂まさ代

な施策だが1年延期となった。次年度にはより有効な調査が行えるよう十分な検討を◆不登校児童生徒への支援について。トライルールのICT環境整備やスクールソーシャルワーカー1名増員など評価はできるが居場所や相談窓口の拡充には至っていない。教育と福祉の連携を◆放課後子どもプランについて。各小学校のPTAと保護者の協力が不可欠。実施委員会の事務作業の軽減と、学校と実施委員会との潤滑油としての役割を求める。◆市道南290号線（西国分寺駅JR武蔵野線ガード下）の拡幅について。市民意見を反映したバリアフリーの道路整備を。

「日曜議会」を開催しました

第1回定例会初日の2月18日（金）に、市長から施政方針が発表され、施政方針に対する各会派からの代表質問を2月20日（日）に行いました。

当日は、インターネット中継でライブ配信を行い、多くの方に代表質問の様子をご覧いただくことができました。

※当日の様子は、市議会ホームページの動画配信ページから5月31日（火）までご覧になれます。 [こちらから](#)



ウクライナ支援 義援金を送りました

国分寺市議会では、日常生活を奪われてしまったウクライナの方々に対する人道支援を目的として、国連UNHCR協会を通じ、国分寺市議会議員互助会よりウクライナおよび近隣諸国への難民支援として20万円の寄付を行いました。

3月18日（金）に田中政義議長・及川妙子副議長が議会を代表し同協会を訪問、義援金の寄付を報告し、目録をお渡しいたしました。当日は、ナッケン鯉都UNHCR駐日首席副代表・川合雅幸国連UNHCR協会事務局長にご対応いただき、感謝状をいただきました。



国分寺市議会における主な新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について

国分寺市議会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、次の対応を行っています。

- ・ 議場フロアの定期的な換気および机、ドアノブなどの消毒の徹底、議員・職員・傍聴者への手指消毒とマスク着用の協力依頼を実施しております。
- ・ 議員席、職員席の配置などを工夫し、3密（密閉・密集・密接）回避のためソーシャルディスタンスを確保しております。
- ・ 飛沫による感染を防ぐため、アクリル板を設置しております。

シリーズ国分寺市議会⑰ 常任委員会と特別委員会とは

国分寺市議会では、総務委員会・厚生文教委員会・建設環境委員会の3つの常任委員会と公共施設等総合管理特別委員会・新庁舎建設等特別委員会の2つの特別委員会が常時設置されています。

また、定例会ごとに必要に応じて設置される補正予算審査特別委員会、第1回定例会で設置される予算特別委員会、第3回定例会で設置される決算特別委員会があります。

委員会は議会内部の審査機関であり、常任委員会はその部門に属する事項について、特別委員会は市政の特に重要な事項について、本会議の予備的な調査や審査を行います。これは、市政の範囲が広く様々な分野にわたることから、委員会ごとに所管事務を分担することで、能率的かつ詳細な調査と審査を行うためです。

本会議において、委員会で審査された内容について、各委員会の委員長より報告があり、報告に対する質疑とそれに対する答弁、討論（議員が賛成・反対の意見を述べる）が行われ、採決（可否の決定）されます。

シリーズ国分寺市議会とは

国分寺市議会のしくみなどを市民の皆様にはわかりやすくお伝えする市議会だよりの特集記事です。

平成29年2月1日号からシリーズで連載しています。

なお、過去の連載内容は市議会ホームページからご覧になれます。



シリーズ国分寺市議会

令和4年 第1回定例会 請願の審議結果について

請願番号	件名	付託先委員会	結果
請願第3-1号	普天間基地代替施設について国民的議論により公正な解決を図り、2019年沖縄県民投票の結果（米軍基地建設のための名護市辺野古の埋立て中止）を尊重すべきとする意見書の採択に関する請願	総務	継続

令和4年 第1回定例会 陳情の審議結果について

陳情番号	件名	付託先委員会	結果
陳情第3-2号	一人一人の子どもを大切に、感染症からも守るために、国分寺市議会が、国・東京都に対して「小・中学校全学年に30人以下の少人数学級の実現を求める意見書を送付すること」を求める陳情	厚生文教	継続
陳情第3-7号	テニスコート使用に関する陳情	総務	取り下げを承認
陳情第3-9号	東京都として都立神経病院の「再編統合」は行わないと国に意思表示するよう求める意見書提出の陳情	厚生文教	継続
陳情第3-10号	国分寺市における縄文遺跡群の保護・保存・広報・観光化活動において近隣市とのさらなる連携をはかり推進することを求める陳情	//	継続
陳情第4-1号	テニスコート使用に関する陳情	総務	採択
陳情第4-2号	可燃ごみ・プラスチックごみ回収回数増加を求める陳情	建設環境	継続

次回の定例会 開催予定について

どなたでも傍聴できます

第2回定例会は

6 月 1 日 (水)

開会予定です。

本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。傍聴の際は、必ずマスク着用と手指消毒をお願いいたします。

また、体調の優れない方は傍聴をご遠慮いただきますようお願いいたします。

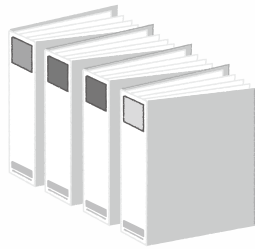
なお、本会議については、ライブ中継・録画配信を行う予定ですので、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からご活用ください。

資産等報告書と政務活動費の 公開について

どなたでも閲覧できます

国分寺市議会では、各議員の資産等報告書と政務活動費の収支報告書を公開しています。

資産等報告書は、政策法務課（内線443）で閲覧ができます。また、政務活動費の収支報告書は、市議会ホームページ、議会図書室、オープナー（行政資料室）で閲覧できます。



閉会中の委員会等 について

どなたでも傍聴できます

第1回定例会終了後、第2回定例会までの間に開催する委員会等の日程は次のとおりです。

4月5日（火）全員協議会
4月14日（木）議会運営委員会
4月25日（月）厚生文教委員会
4月26日（火）総務委員会
4月27日（水）建設環境委員会
4月28日（木）新庁舎建設等特別委員会
5月30日（月）代表者会議／議会運営委員会

市役所第1庁舎3階委員会室で午前9時30分から開始予定です。詳しくは、市議会ホームページをご参照ください。

※4月中の委員会等は終了しております。

障害者等への 合理的配慮について

どなたでも傍聴できます

聴覚などに障害のある方のため、市議会を傍聴する際に、手話通訳者または要約筆記者を派遣します。事前に予約が必要で、費用は無料です。

また、盲導犬、聴導犬、介助犬と一緒に傍聴も可能です。

詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

インターネット 動画配信について

どなたでも視聴できます

第1回定例会の本会議で行われた代表質問と議案審議等の動画が市議会ホームページから5月31日（火）までご覧になれます。

また、次回第2回定例会の一般質問と議案審議等のライブ中継・録画配信を行う予定です。ぜひご活用ください。

請願・陳情の 提出について

どなたでも提出できます

皆様の行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。

第2回定例会からの審議を希望する方は、5月12日（木）までに議会事務局へお持ちください。

本会議録・委員会 記録について

どなたでも閲覧できます

第1回定例会の本会議録（全文掲載）は、6月1日（水）より市議会ホームページで閲覧できます。

また、本会議録は平成元年、委員会記録は平成17年以降の記録から閲覧できます。

上記の詳細は、次の方法で知ることができます。

- 国分寺市議会ホームページ
<https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shigikai>

国分寺市議会 検索

- 二次元コード
スマートフォン等で読み取るとサイトにアクセスできます。



市議会ホームページ



国分寺市議会公式
Twitter(ツイッター)



動画配信ページ

- 国分寺市議会公式Twitter(ツイッター) https://twitter.com/kokubunji_gikai
本アカウントへのリプライ(返信)、DM(ダイレクトメッセージ)には対応いたしかねますのでご了承ください。

- 議会事務局への問い合わせ ☎(042)325-0111 (代表) FAX(042)327-1426

【定例会・委員会について、インターネット動画配信について(議事担当)内線468】【請願・陳情について(調査担当)内線581】

【障害者等への合理的配慮について、国分寺市議会公式 Twitter(ツイッター)について (総務担当)内線467】

第1回定例会議案審議結果

第1回定例会には新規41件の議案が提出され、可決25件、承認1件、同意15件となりました。

議案番号	議案名	議案の要旨	付託先委員会	結果
第1号	令和4年度国分寺市一般会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ503億5,705万円と定める。	予算	賛成多数・可決
第2号	国民健康保険特別会計予算	112億4,732万6千円と定める。	〃	全員賛成・可決
第3号	介護保険特別会計予算	93億2,012万6千円と定める。	〃	全員賛成・可決
第4号	後期高齢者医療特別会計予算	31億8,531万2千円と定める。	〃	賛成多数・可決
第5号	下水道事業会計予算	収益的収入および支出の予定額として下水道事業収益24億9,141万6千円、下水道事業費用29億966万5千円、その他資本的収入および支出の予定額などを定める。	〃	全員賛成・可決
第6号	専決処分について	国分寺市一般会計補正予算において、住民税非課税世帯等臨時特別給付金を速やかに支給するため、令和3年12月28日に専決処分したので議会の承認を求める。	補正予算	全員賛成・承認
第7号	令和3年度国分寺市一般会計補正予算(第16号)	歳入歳出予算の総額に9,269万7千円を増額し、歳入歳出それぞれ584億7,656万2千円とする。	〃	全員賛成・可決
第8号	〃(第17号)	歳入歳出予算の総額に7億2,229万3千円を増額し、歳入歳出それぞれ591億9,885万5千円とする。	〃	全員賛成・可決
第9号	令和3年度国分寺市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額から1,178万3千円を減額し、歳入歳出それぞれ109億7,674万5千円とする。	厚生文教	全員賛成・可決
第10号	介護保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額から1億7,100万6千円を減額し、歳入歳出それぞれ91億6,258万円とする。	〃	全員賛成・可決
第11号	後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額から8,295万1千円を減額し、歳入歳出それぞれ30億572万6千円とする。	〃	全員賛成・可決
第12号	下水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収入および支出において、下水道事業収益2,315万3千円の増額、下水道事業費用1,622万6千円の減額を行い、資本的収入および支出において、不足する額を補填する財源の内訳を改めるとともに、下水道事業資本的収入1億6,430万円の減額、下水道事業資本的支出1億5,749万6千円の減額を行う。	建設環境	全員賛成・可決
第13号	国分寺市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会への派遣終了に伴い、職員を派遣することができる団体を削除する。	総務	全員賛成・可決
第14号	国分寺市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	国及び東京都に準じて非常勤職員の育児休業取得要件の緩和を行う。	〃	全員賛成・可決
第15号	国分寺市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について	他の地方公務員等から引き続き職員となった者の退職手当に関する規定を改めるほか、引用条項を改める。	〃	全員賛成・可決
第16号	国分寺市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律等の制定に伴い、引用条項を整理する。	厚生文教	全員賛成・可決
第17号	国分寺市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律等の制定に伴い、国民健康保険税の減額措置に関する規定を整備等する。	〃	全員賛成・可決
第18号	国分寺市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	小学4年生から中学3年生までの児童を養育している者の所得制限を撤廃する。	〃	全員賛成・可決
第19号	国分寺市事務手数料条例の一部を改正する条例について	長期優良住宅の普及の促進に関する法律の改正に伴い、建築物の容積率に関する特例の許可審査手数料を新設する。	建設環境	全員賛成・可決
第20号	国分寺市立公園条例の一部を改正する条例について	〔内藤さつき公園〕を都市公園以外の公園から都市公園にする。	〃	全員賛成・可決
第21号	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の選任について	国分寺市情報公開・個人情報保護審議会委員の任期満了に伴い、星野宏則氏を選任する。	—	全員賛成・同意
第22号	〃	〃	—	全員賛成・同意
第23号	〃	〃	—	全員賛成・同意
第24号	〃	〃	—	全員賛成・同意
第25号	〃	〃	—	全員賛成・同意
第26号	〃	〃	—	全員賛成・同意
第27号	〃	〃	—	全員賛成・同意
第28号	〃	〃	—	全員賛成・同意
第29号	〃	〃	—	全員賛成・同意
第30号	〃	〃	—	全員賛成・同意
第31号	国分寺市建築審査会委員の選任について	国分寺市建築審査会委員の任期満了に伴い、新井今日子氏を選任する。	—	全員賛成・同意
第32号	〃	〃	—	全員賛成・同意
第33号	〃	〃	—	全員賛成・同意
第34号	〃	〃	—	全員賛成・同意
第35号	〃	〃	—	全員賛成・同意
第36号	市道路線の一部廃止について	西元町三丁目地内の道路について、史跡武蔵国分寺跡(僧寺地区)新整備基本計画により、一般交通の用に供する必要がなくなったと認めるため、市道路線の一部を廃止する。	建設環境	全員賛成・可決
第37号	〃	〃	〃	全員賛成・可決
第38号	市道路線の廃止について	〃	〃	全員賛成・可決
第39号	東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約について	後期高齢者医療保険料の軽減に係る経費を、都内各市町村の一般財源から分賦金として支弁するための規約の一部を変更する。	厚生文教	全員賛成・可決
第40号	令和3年度国分寺市一般会計補正予算(第18号)	子育て世帯等臨時特別支援事業について、年度内に事業が完了しないため、繰越明許費として追加する。	補正予算	全員賛成・可決
第41号	令和4年度国分寺市一般会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に8億7,581万7千円を増額し、歳入歳出それぞれ512億3,286万7千円とする。	〃	全員賛成・可決

—=本会議即決、補正予算=補正予算審査特別、予算=予算特別

議案に対する議員の表決状況(賛否の分かれたもの)

議案名	議員名	自由民主党市議団											フォーラム		公明党		共産党		ネット		無			
		森田	丸山	小坂	吉田	尾	尾	新	田	だ	は	皆	及	星	高	さ	木	中	岡	中		小	高	木
議案第1号 令和4年度国分寺市一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○
議案第4号 令和4年度国分寺市後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○

・表決 (○=賛成 ●=反対)
 ・会派名 (フォーラム=立憲・市民フォーラム、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=無会派(国分寺・生活者ネットワーク)、無=無会派)